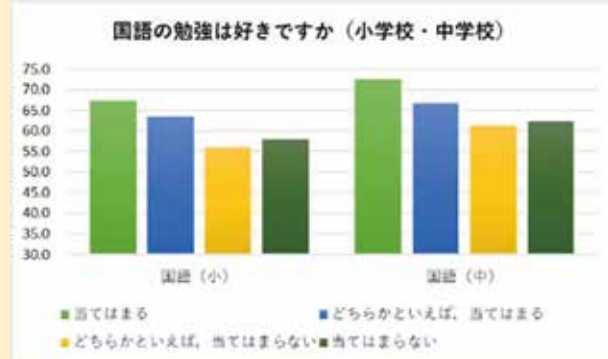


さらに注目!

生活習慣・学習習慣の向上 → 学力の向上

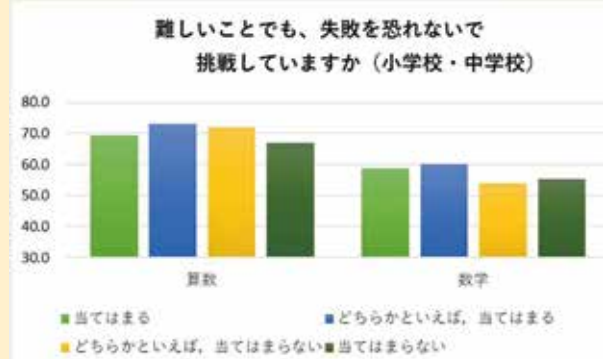
学習に対する気持ち



最近になって授業が楽しく感じるようになってきました。内容は難しくても、それをみんなで一緒に学び合えるのがとても楽しいです。授業をそう思えるのはすごく良いことだと思います。
A中学校の生徒より

勉強が好きな児童生徒ほど、学力テストの正答率が高い

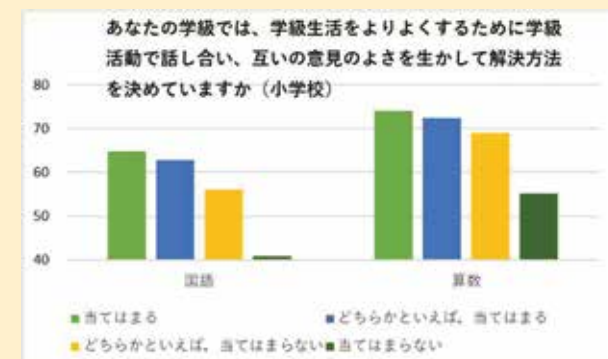
挑戦する行動



私はこの単元で難しい問題なども最初の基礎をしっかりとしていれば解けることが分かりました。これからも基礎を身につけてどんな問題でも解けるようにしていきたいと思います。
B中学校の生徒より

失敗を恐れず挑戦する児童生徒ほど、学力テストの正答率が高い

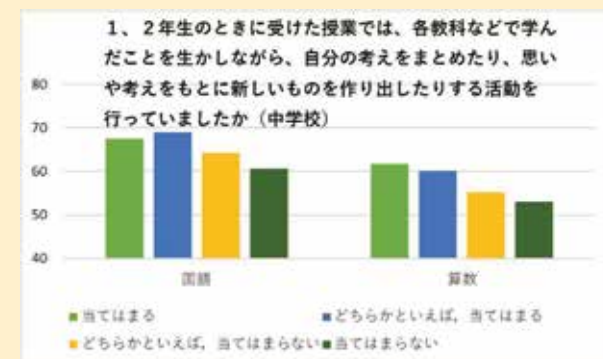
多様な他者と協働する力



学級会で、クラスみんなで話し合って決めたことで、前よりもっと楽しい遊びになりました。みんなで時間をかけて話し合って決めることは、とっても意味のあることだと思います。
C小学校の児童より

多様な他者と協働する児童生徒ほど、学力テストの正答率が高い

新しいものを創る力



ほくは、総合的な学習の時間に、算数の時間に習った速さや時間の計算を生かして、耳が聞こえない人に役立つ「目覚ましロボット」を作りました。
D小学校の児童より

新しいものを創る児童生徒ほど、学力テストの正答率が高い

4 加西市の小・中学校における取組について…「加西STEAM」で次世代型人材の育成へ

「人生100年時代」「Society5.0」「SDGs」等の社会的変化を受け、AIやIoT等の科学技術が発達。変化が激しく予測が難しい時代です。加西市では、**探究心**をもって学び、たくましく生き抜き、どんな環境でもしあわせになれる自立した人づくりを目指します。そのための1つのチャレンジが**STEAM教育による次世代型人材育成**です。

「次世代型人材」とは?



- ★ 自ら「問い」を立てる
- ★ 「知りたい」と「創りたい」で「探究」する
- ★ 他者と「協働」・AIと「共存」する
- ★ 「あったらいいな」～未来志向で考え続ける

「STEAM教育」とは

サイエンス (科学: S)
テクノロジー (技術: T)
エンジニアリング/イングリッシュ (工学/英語: E)
アート (芸術: A)
マスマティクス (数学: M)
の5つの領域を重視。
「なぜ?」「知りたい」「創りたい」を循環しつつ、「探究」と「創造的な体験」を重視し、自分の頭で考えられる子を育成する。



英語 × 加西STEAM



食育 × 加西STEAM



環境学習 × 加西STEAM



地域学習 × 加西STEAM



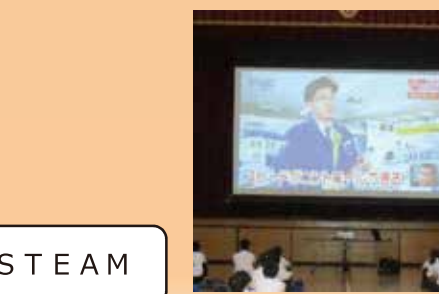
理科 × 加西STEAM



プログラミング × 加西STEAM



総合的な学習の時間 × 加西STEAM



地元企業 × 加西STEAM

(2021.11.15 発行)

令和3年度 加西っ子の学力・学習状況の報告



令和3年5月27日(火)に実施された「令和3年度全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえ、加西っ子の学力・学習状況について報告します。

1 全国学力・学習状況調査について

全国の小学校6年生と中学校3年生を対象とし、国語、算数・数学の学力調査や、生活習慣・学習習慣の調査が実施されました。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

2 加西っ子の学力に関する状況について —「教科に関する調査」結果から—

小学校6年生、中学校3年生の国語、算数・数学について、教科に関する調査の結果を基に、加西っ子の学力と全国平均や兵庫県平均と比べてみると以下のとおりでした。

小学校6年生

	平均正答率 (%)	
	国語	算数
全国	65	70
兵庫県	64	71
加西市	61	72

【全国平均との比較】

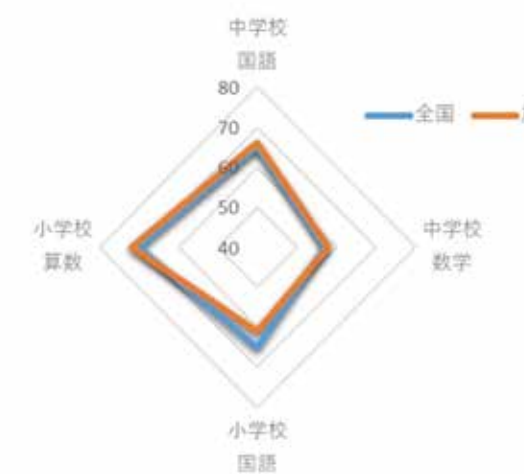
国語 … 低い
算数 … やや高い

中学校3年生

	平均正答率 (%)	
	国語	数学
全国	65	57
兵庫県	64	58
加西市	66	58

【全国平均との比較】

国語 … 同程度
算数 … 同程度



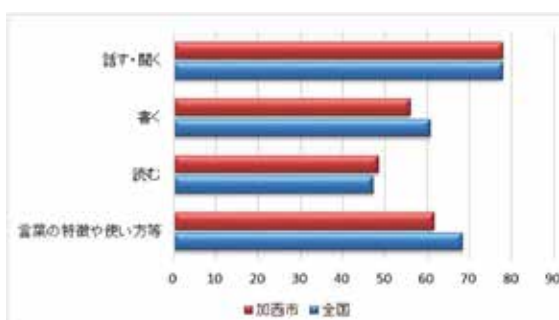
※全国との差が「±0~1」を「同程度」、「±2~3」を「やや高い・やや低い」、「±4~」を「高い・低い」と表しています。

国語

小学校

【加西市の正答率／全国の正答率】

☆本調査問題は、国立教育政策研究所のウェブページから
ご覧いただけます。
【https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm】



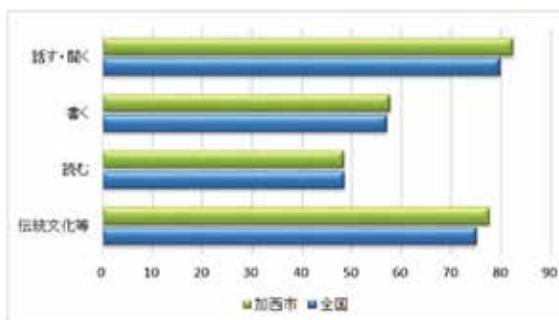
定着傾向が認められた項目・問題例

- ◇文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する。【82.1%／77.6%】
- ◇資料を用いた目的を理解する。【77.1%／74.9%】
- ◇目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える。【79.7%／77.5%】



文章やスピーチの構成をしっかり捉え、内容の中心が何かを見抜き文章を読解する力が付いています。

中学校



定着傾向が認められた項目・問題例

- ◇文脈に即して漢字を正しく読む。
「のぼして」 → 「伸ばして」 【96.1%／97.5%】
「しようさい」 → 「詳細」 【89.5%／88.8%】
- ◇質問の意図を捉える。【93.5%／92.5%】
- ◇伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く。【73.5%／71.9%】

伝えたいことを読み手に分かりやすく伝えるために、説明や具体例を加えたり、表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選んで描写を工夫したりできている生徒が増えています。

課題の見られた項目・問題例

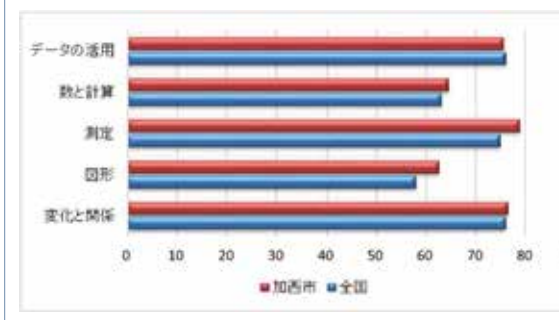
- ◆相手や場に応じて敬語を適切に使う。【46.4%／40.3%】
〈問題〉「行く」を適切な敬語に書き直す。
その敬語の種類を選ぶ。(尊敬語・謙讓語・丁寧語)
- ◆書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く。【27.5%／24.8%】
- ◆文脈の中における語句の意味を理解する。【40.2%／43.7%】
〈問題〉「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する。
- ◆文章に表れているもの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。【20.6%／20.5%】
〈条件〉①文章の中の表現を引用し、「吾輩」が「黒」にどんな接し方をしているかを書くこと。
②条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

算数・数学

小学校

【加西市の正答率／全国の正答率】

☆本調査問題は、国立教育政策研究所のウェブページから
ご覧いただけます。
【https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm】



課題の見られた項目・問題例

- ◆商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係性を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる。【51.2%／55.5%】
〈問題〉8人に、4Lのジュースを等しく分けます。1人分は何Lですか。求める式と答えを書きましよう。
- ◆複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる。【49.8%／46.0%】
- ◆帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる。【51.8%／52.0%】

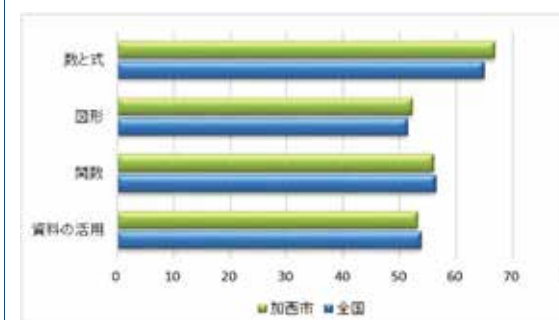
全体の42.9%の児童が、「8÷4=2」と間違えて答えました。

定着傾向が認められた項目・問題例

- ◇条件に合う時刻を求めることができる。【93.4%／89.2%】
- ◇速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる。
〈問題〉分速540mで走るバスが、2700mを進むのに何分かかるかを求める式を書きましよう。【86.7%／85.1%】
- ◇示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる。【85.7%／83.0%】

公式を使って正確に計算をしたり、算数を日常生活につなげて活用したりする力が付いてきています。

中学校



課題の見られた項目・問題例

- ◆関数の意味を理解している。【42.2%／48.0%】
〈問題〉午前8時から経過した時間と影の長さについて、経過した時間を決めると、それともなって影の長さがただ1つ決まるという関係がある。
→下線を、次のように表すとき、①と②に当てはまる言葉を書きなさい。
①は②の関数である。
- ◆データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。【6.2%／11.1%】
- ◆ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる。【26.8%／28.8%】

1に「経過した時間」、2に「影の長さ」を入れて間違えた生徒が32%いました。

定着傾向が認められた項目・問題例

- ◇整式の加法と減法の計算ができる。【81.0%／77.1%】
〈問題〉 $(5x + 6y) - (3x - 2y)$
- ◇ヒストグラムからある階級の度数を読み取る。【85.9%／83.0%】
- ◇与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。【96.1%／93.5%】

与えられた表やグラフ、データから、必要な情報を適切に読み取ったり、必要な数値を求めることができている。

3 加西っ子の生活習慣や学習習慣について — 「児童・生徒質問紙調査」結果から—

子どもたちの学力は、生活習慣や学習習慣が基盤となっています。加西っ子の生活習慣や学習習慣のうち、経年比較から、安定して高い数値を出し続けていたり、本年度改善傾向が見られたりする項目があります。ここでは、加西っ子のすばらしいところ、がんばっているところに注目し、取り上げています。

注) 色 - 経年比較(H26年度以降)による最高値 色 - 経年比較による最低値 斜線部は、調査項目がなかった年度

No	質問内容	小学校6年生							中学校3年生						
		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R3	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R3
1	朝食を毎日食べている	97	98	96	96	95	94	96	94	93	96	96	92	95	93
2	将来の夢や目標を持っている	86	86	87	85	90	88	86	66	66	68	68	69	72	64
3	自分にはよいところがあると思う	77	72	76	80	90	86	82	60	58	70	73	81	76	83
4	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	72	74	73	73		84	75	62	62	53	70		66	64
5	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	96	96	92	95		96		94	94	93	95		94	
6	国語の勉強は、好きですか	57	56	54	50		63	57	60	50	62	66		57	62
7	国語の勉強は大切だと思う	92	90	89	92		92	95	89	86	92	90		88	93
8	算数・数学の勉強は好きですか	63	65	65	64	61	65	70	49	55	52	55	57	59	60
9	算数・数学の勉強は大切だと思う	93	92	91	94	94	92	92	77	82	81	82	83	80	82
10	英語の勉強は、好きですか							68						51	56
11	平日、テレビゲームや携帯ゲーム等をする時間は1時間以下である	46	51	45	49			18	38	46	48	46			20
12	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	58	58	59	57	75	75	74	33	38	41	41	46	39	55
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97	96	97	95	97	98	99	95	95	95	93	98	95	97

以上の結果から、調査の中で注目すべきは、

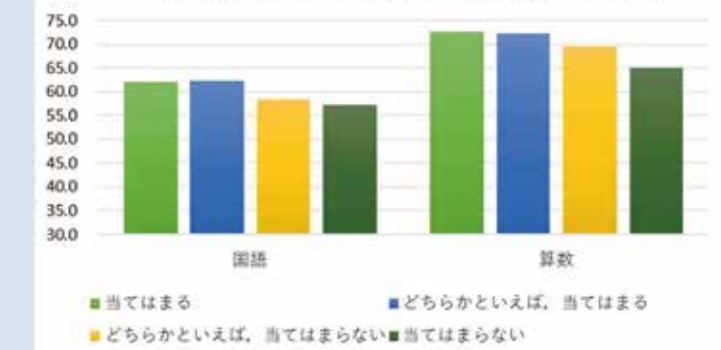
注目!

- ・朝食を毎日食べている児童生徒が9割以上 ... 小学生は96%
- ・自分のよいところを自覚する児童生徒が8割以上 ... 中学生は最高値
- ・勉強が好きだ、大切だと思う児童生徒の増加
～国語の勉強が大切+算数・数学の勉強が好き ... 小・中学生ともに最高値
- ・家で、自分で計画を立て勉強する学習習慣の向上 ... 中学生は15%以上アップ
- ・いじめを許さない等の道徳性の育ち ... 小学生は99%



これらは、子どもたちの学力の基盤となる力です。今後も、家庭や地域の連携・協力を得ながら、各学校が工夫と特色ある教育活動を展開し、加西っ子のさらなる成長を進め、学力の向上を目指していきます。

自分にはよいところがあると思いますか (小学校)



自分にはよいところがあると思う → 学力が高い

自分が肯定できると、前向きに学びに向かう